

案内ロボットが活躍

ロボットを活用した事業の創出を目指す中小企業の支援を目的とした「公募型共同研究開発事業」において採択された企業と都産技研が開発を進めるサービスロボットが活躍の場を広げています。

都産技研が開発を進める先導型案内ロボット「Libra（リブラ）」をベースに（株）プラネックスが開発した「おーい」を、すみだ北斎美術館の常設展示室（前室）において、実証実験を行いました（10月11日・12日）。「おーい」は、来場者で賑う会場内を移動し、館内の見どころなどを多言語で案内することができるロボットです。12月12日（火）・13日（水）も同様にすみだ北斎美術館において実証実験を行います。

同じく「Libra」をベースに08ワークス（株）、日本ユニシス（株）、（株）パルコが共同で開発を進める「Siriusbot（シリウスボット）」も商業施設において実証実験を行いました（10月18日～25日、10月31日～11月12日）。「Siriusbot」は、営業時間中はテナントや施設の情報を対話形式で案内し、営業終了後は自動で在庫確認を行うことができるロボットです。

サービス分野において集客効果や労働力不足を解決するロボットの実用化に向けて、都産技研は引き続き中小企業を支援していきます。



商業施設で売り場の案内をする「Siriusbot」

美術館で展示品の説明を行う「おーい」

●お問い合わせ

プロジェクト事業化推進室〈本部〉 TEL 03-5530-2634

第5回労働科学研究所セミナー開催

（公財）大原記念労働科学研究所が主催する「第5回労働科学研究所セミナー」を都産技研 墨田支所で開催します。

化学品の危険有害性を世界的に統一された基準に従って分類・表示し、災害防止や健康、環境保護に役立てようとするGHS（化学品の分類および表示に関する世界調和システム）について解説するセミナーです。化学物質の専門知識は必要ありませんので、お気軽にご参加ください。

プログラム

●講演

「輸入、販売、製造者に知ってほしいGHSの知識と企業責任ー化学物質の危険有害性を正しく理解し発信するメリットー」

講師 日本大学理工学部 特任教授 城内 博氏

●都産技研 事業紹介

●都産技研 墨田支所見学

開催概要

日 時：平成30年1月10日（水）13:30～17:00

会 場：墨田支所（墨田区横網1-6-1 KFCビル12階）

参加費：無料

参加方法：（公財）大原記念労働科学研究所webサイト（<http://www.isl.or.jp/>）からお申し込みください。

主 催：（公財）大原記念労働科学研究所

共 催：（地独）東京都立産業技術研究センター

※大阪会場（大阪クロススクエア）でも1月11日（木）に同様の講演を開催します（都産技研の事業紹介、墨田支所見学はありません）。

●お問い合わせ

（公財）大原記念労働科学研究所 セミナー係 TEL 03-6447-1435

TIRI NEWS 2017年11月号に誤植がございました。お詫びして訂正いたします。

5ページ 図4および図5

曲げ弾性率 単位（誤） Gpa → （正） GPa
曲げ強度 単位（誤） Mpa → （正） MPa

TIRI NEWS・メールニュースのご案内

●TIRI NEWSの無料定期配送およびメールニュース（週1回発行）の配信をご希望の方は、お名前とご住所（TIRI NEWSの場合）、メールアドレス（メールニュースの場合）を下記までご連絡ください。

連絡先：広報室〈本部〉

TEL 03-5530-2521 FAX 03-5530-2536 E-mail koho@iri-tokyo.jp

編集後記

Informationでご紹介したロボットの実証実験を見学に行ってきました。どちらも多くの人が行き交う施設内をスムーズに移動してお客さまをご案内しており、驚きました。普段の生活でもロボットを目にする機会が増えており、より身近なものになりつつあると感じています。今後、労働力不足などを解決する手段として、一層ロボットが普及していくことを期待しています。